



國際聯盟會館定礎式舉行

(會館設計圖は工事畫報三年二月號參照)

上圖は國際聯盟の創立十週年を祝ふ今次の第十回聯盟總會に當つて舉行された新聯盟會館定礎式の景である。

式は九月七日午後四時ジュネーヴのレマン湖畔に定められた、建築敷地の一角に於て嚴肅に舉行せられた。此の記念すべき定礎式には聯盟事務總長サー・イーリック・ドラモンド、聯盟理事會現任議長フルギ親王(ベルシア代表)、第十回聯盟總會議長ゲレロ氏(サルヴァドル代表)、スウェーデン聯邦大統領ハアブ氏が順次に起つて熱誠をこめた祝辭を述べた。

式場の真中に据えられた礎石には鉛の小箱が入れられ、聯盟五十四ヶ國の金貨、銀貨、ニッケル貨、銅貨を一種宛さ、定礎式舉行年月日、建築物の性質及び第十回聯盟總會に出席せる加盟國五十三ヶ國名を書き列ねた羊皮紙を納めた。此の文書は聯盟國の國語約三十に翻譯せられ羊皮紙に記して上文と共に小箱に納め、また國際聯盟規約も入れた。

國際聯盟では新會館建築に當り廣く各國政府並びに個人より建築用材及び内部裝飾或は家具類の寄附を喜んで受けることになつた。既に南阿政府は委員會室の鏡板、ニュージーランド政府は鏡板にサモア特産木製の肘掛椅子一脚、オーストラリア政府はオーストラリア産の木材で作つた總會議場の演壇を夫々寄贈することを申出てる。最近發表せられた寄贈受付に關する規定を見るこ

一、外部裝飾或は建築用材料(受付1930年12月まで)

二、内部裝飾(特に一室の完全なる裝飾或は鏡板張、受付1931年12月まで)

三、家具或は裝飾備品(受付1932年12月まで)の三種に大體區別して、その受付期間を定めてゐる。その上寄贈申込者は成る可く圖面、見本等を豫め建築委員會まで提出せられ度しこのことである。(國際聯盟事務局東京支局は丸ノ内13號館にあり)